

NPO法人さやま保育サポートの会事務局：〒350-1304 埼玉県狭山市狭山台 3-8-12 よつばのおうち内



TEL&FAX：04-2957-0451 MAIL：yotuba-2006@qj9.so-net.ne.jp

http://sayama-portal.jp/sayama_hoiku_support/

パンデミック(世界的大流行)によって得たこと・得られなかったこと

COVID-19が5類になって、世の中はだんだんと通常モードになりつつあります。しかしやはりウィルスが突然変異をしたわけではないので、感染者は増えています。そればかりか、2類の頃には身を潜めていた夏風邪の一種、ヘルパンギーナやRSウィルス感染症、プール熱（咽頭結膜熱）の流行が拡大しています。コロナを怖がっていたときには、必死でおこなっていた消毒や手洗いが、これらの感染症も防ぐことに役立っていた可能性があります。COVID-19で確かにいろいろたいへんな3年間でしたが、私たちはめったに経験できないパンデミックを経験した(できた)ことで、得たことも実はたくさんあったのではないかと思います。その得たことをしっかりと私たちの知恵にしていきたいと思います。

もちろん、パンデミックが起きたことで、経験できなかったこと、その意味も忘れてたくないと思います。子どもたちにとっての3年間は、大人にとっての10年くらいかも知れません。意味もなく、ただじゃれあってお友達と関わったり、キャーキャー言いながらはしゃぎあったり、給食をおいしいねと話しながら一緒に食べたり。そんな経験をする機会をがまんしなければならなかったそんな3年間であったこともまた忘れてはいけない事実です。マスクのない関わりで、相手の表情を読むこと、じゃれ合いから喧嘩になることで、相手との「距離」を覚えていくこと、3密の中でだったら得られたかもしれないことだって、きっとあったはず。しかし、そんな3年間であったとしても、子どもたちにはかけがえのない時間でした。

歴史をたどれば人類は、天然痘やペストやスペイン風邪というパンデミックにも、知恵を使ってこれらを着実に乗り越えてきました。得られなかったことを惜しむのではなく、めったにできない経験から学べたことを膨らませて、意味のあるキラキラした時間だったことにできるといいな、と思います。異次元の少子社会に生きる子どもたち、きっと大人の想像を超える異次元の未来を作ってくれることでしょう。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

代表理事 大賀明子

法人スタッフ全体研修会

7月17日(祝・月)、サンパーク奥富ホールにて法人スタッフ全体研修会を行いました。

第一部はアルパ奏者のNELSON SUZUKI(ネルソン鈴木)さんをお迎えし、初めて見るアルパという南米の楽器やアオポイという伝統刺繍の施された民族衣装についてのお話を交えながら演奏会鑑賞。

第二部は「各事業所での現状について」「その現状が生じている背景や要因について」「私達の日常の関わりの中で子どもや家庭に対しどのようなサポートができるか」をテーマにグループディスカッションを行いました。





小規模保育事業所 よつばのおうち

令和4年度は、度重なる休園が余儀なくされ、制限のある中での保育を強いられてきました。その中で、様々な方法を探りながら生活してきました。何より、子どもたちと過ごす時間は、『どんな時も楽しく、豊かでありたい』という気持ちを大事にしてきた日々です。おかげで、“こんなことも、あんなこともできる！”という発見があり、子どもも大人も共に育ち合うことができたように思います。コロナが5類になり、色々なことが緩和され、思い切り楽しめるようになりました。この夏は、庭の野菜や果物が豊作で毎朝観察と、収穫が日課になっています。収穫したラズベリーや野菜を子どもたちが、自分で洗って、ワイワイしながら食べた！そんな、小さな喜びを日々の保育の中で大事にしながら、みんなが、毎日行きたくなる居場所を目指します！

ホームスタートさやま

令和5年度 家庭訪問ボランティア

養成講座を行います。

日時 9/28 (木) 10/5 (木) 10/12 (木)
10/19 (木) 10/26 (木) 11/2 (木)
11/9 (木) 11/16 (木)

*11/16については、お一人1時間程度
9時30分～15時30分 (全8回)

場所 狭山元気プラザ (教室3)

狭山市狭山台1-21 駐車場・有

受講料 無料 (市の委託事業のため)

対象 全日程参加し、受講後に訪問活動に関わって頂ける方。子育て経験のある方、子育て支援の経験のある方

(全日程参加が難しい場合はご相談下さい)

申込み 9/21(木)まで メール又は電話で

メール hs.sayama5315@gmail.com

電話 080-9450-5315

問合せ NPO法人さやま保育サポートの会

ホームスタートさやま 080-9450-5315

地元の子育てを応援したい方、一緒にママの気持ちにそっと寄り添うボランティア活動をしてみませんか？

子育てプレイス奥富

令和4年度はコロナ禍での制限が少しずつ緩和された1年でしたが、その都度変化する動きに対応、周知を要することに大変な1年でした。行政との連携を密にしながら、スタッフ間で共有し開所してきました。少しずつ緩和されたことにより、日常が戻りつつ、利用者さんの気持ちも軽く前向きになり、安心して利用しやすくなったとの声を沢山いただけたことに安堵の気持ちでいっぱいでした。

事業に関しましては、一年を通して伝統行事・季節の事業、地域連携の事業を大切に親子のニーズに寄り添いながら実施しています。新しい事業も多く実施することができました。

その中でも新たな挑戦として、西武文理大学子育て世代さやま居場所づくりPJ共同研究グループ主催の『wellCafé』、主催：NPO法人さやま保育サポートの会・子育てプレイス奥富、後援：狭山市 実施することができました。

wellCaféとは...

「小さなお子さんを子育て中の方が、ホッとできる場」のことで、また、さやま子育てネットワーク主催、『虹の看板プロジェクト』に参加し、利用者さんと一緒にネットワークのシンボルとなる虹の看板を完成しました。プレイス奥富は今年で15年目を迎えます。毎年開所月でもある10月に『プレイス奥富誕生会』を行い、利用者さんと一緒にお祝っています。また、3月には音楽家の利用者さん発案による「ひな祭りコンサート」を開催しました。今後も新たなことに挑戦しながら、一緒に子育てを考えながらホッと出来る場所、お子さんの成長を促し、一緒に喜べる場所でありたいと思っております。よろしく願いいたします。



新狭山小第一・第二 学童保育室

失われた3年間を取り戻すべく、手指消毒を徹底しながらなるべくコロナ前の生活に戻すようにしています。

読み聞かせや
子どもたちの発表で
の密集の許容



机2台に6人掛け

お迎え時には保育室に
保護者にも入ってもら
い、子どもたちの様子
を見てもらう



迎えに来たお父さんやお母さんに”見て見て!”という
輝く子どもたちの笑顔が見られるようになりました。

奥富学童保育室

新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類感染症になり、一番に変わったのは、8割の子ども達がマスクを外して登室するようになりました。子供たちの表情が良く見える事で、健康状態や気持ちも良くわかるようになりました。しかし、6月初旬には、小学校でインフルエンザによる学級閉鎖になりました。コロナ感染症だけでなく、子ども達の健康管理には十分に注意していかなければならないと思います。次におやつや食事の形態が変わりました。4月は1つの机に2人で黙食でした。5月22日から2つの机に6人、小さい声でのお喋りしても良い事にしました。するとおやつの滞在時間が目に見えて長くなりました。おやつが空腹を満たすだけでなく、楽しい時間になりました。夏休みには、お昼ご飯やおやつ作りにも子供たちが参加する計画をしています。



柏原小第一学童保育室

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから、従来のコロナ感染症対策がゆるくなり、子ども達の学童での生活は大いに変化しました。しかしコロナがなくなったわけではありませんので、登室時の検温や手洗い、アルコールによる消毒は続けています。机の上や室内の消毒も継続しています。換気のために窓を少し開けてCO2濃度が上昇するのを防いでいます。書籍のアルコール消毒は中止しました。子ども達のマスクは本人と保護者の考えに従って、自由にしています。多くの子がマスクから解放されました。室内で遊ぶときは、今までは3、4人以上集まらないようにしていましたが、今はほぼ自由にしています。外あそびの時は、熱中症対策でマスクは外すようにしています。保護者の方には室内に入りお子さんの着替えなどのチェックをしていただいています。



遊びの中身は変わっていませんが、明らかに子ども達は従来よりののびのびとした生活を送っています。今年度は観光バスによる遠足を行います。

御狩場小学童保育室

3年余り続いたコロナ禍の恐怖から、やっと少し解放されました。群れて遊ぶことで成長するはずの子ども達に「お友だちと離れて!」といい、楽しく食べるはずのおやつは「おしゃべりしないで!」と言わなければならない毎日。職員にとっても、とてもつらい日々でした。

机1台を2人で使っていたのが5月からは3人で利用するようになりました。使い方を工夫し、譲り合う姿が多くみられるようになりました。室内遊びも「一人遊び」から「2人遊び」、そして4人までO.K.から制限無しになりました。縦割りの当番活動も再開しました。なんといっても机の中央にパーテーションを立て、黙食していたおやつの時間が、パーテーションを外し、3人でお話しながら食べられるようになったのはとても嬉しいことです。

夏休みには子ども達と一緒に「手作り昼食」も予定しています。4年ぶりにバス遠足にも行く予定です。コロナが再流行しませんように!



令和5年度活動予定

- 毎月 第1月曜日
子育てプレイス奥富打合せ(16:30～)
- 毎月 第1木曜日 HSさ調整員会議
(9:30～市民大学教室3)
- 毎月 第1土曜日 事務局会議(9:30～)
運営委員会(10:45～)
- 毎月 第2木曜日 学童保育室長会議
(9:00～奥富学童保育室)
- 毎月 25日
よつばのおうち保育会議(13:00～)
- 7月30日(日) 評議員会
(10:00～狭山台公民館)
- 8月22日(火) ホームスタートさやま運営委員
会(13:30～市民大学教室3)
- 9月28日～11月16日
ホームスタートさやま家庭訪問ボランティア
養成講座(市民大学教室3)
- 11月11日(土) 理事会

NPO 法人会員の状況：

正会員20名、準会員16名、賛助会員30名。

会員の方々の支援が会の基盤です。新しい会員さんを募集しています！また、会費の納入はお済みませ
でしょうか。よろしくお願いいたします。

令和5年度第1回評議員会

7月30日(日) 10時00分～
狭山台公民館学習室

議事

- ① 令和4年度事業及び会計報告について
- ② 令和5年度事業計画及び予算状況について
- ③ その他

令和5年度第2回理事会

11月11日(土) 11時00分～
新狭山公民館

議事

- ① 上半期事業及び活動予算状況について
- ② 下半期事業予定等について
- ③ 令和6年度奥富学童・柏原小第1学童
保育室委託更新について
- ④ その他

令和5年度事業計画

〈法人の目的〉

子育て中の親たちに対し「孤立感を受けとめ、お互いに支えあう場」を提供し、次世代育成の視点から広汎な地域子育て支援・子育て支援の場を設ける。又、働く親をもつ低年齢児などを対象に、家庭的で温かい保育を提供できる保育サポーターの養成に努め、人間性豊かに成長できる地域社会を創造し、地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

(定款第3条より)

〈令和5年度の活動方針〉

法人の目的を達成するため、令和5年度においては次の方針のもとに事業を実施する。

- 1 長引くコロナ禍により、社会経済活動や生活様式、そして人の意識も大きく変化してきている。状況に応じた活動の仕方を工夫するとともに、子育て環境の変化に対応した支援活動を進める。
- 2 活動の担い手となる人材の発掘・育成に努める。

さやま保育サポートの会

事務局

よつばのおうち
子育てプレイス奥富
ホームスタートさやま
奥富学童保育室
柏原小第一学童保育室
新狭山小第一・第二学童保育室
御狩場小学童保育室